

前

三年

画数 9
筆順 ソ、エ、前、前、前
オン ゼン
フン まえ



↓ 前 ↓ 前 ↓ 前 ↓ 前 ↓ 前

成り立ち

ふるい字は、「止」と月(舟という字がかわったもの)と、「刀」とをくみあわせてつくった字です。「止めてあった舟のともづなをきり、舟を「まえ」にすすめる」ことをあらわした字です。「まえ」とか「すすめる」といういみにつかわれます。

「二つの「月」」

月という字には三つのつかいかたがあります。

- (1) 肉月(肉)という字がかわったもので、からだの名前につかわれます。(例)胃、腹、胸、有。
- (2) 舟月(舟)という字がかわったもので、舟のいみか、舟の音がつかわれます。(例)朝、服。
- (3) 月(月)ほんとうの月です。(例)明、朗、期。

組

二年

画数 11
筆順 く、夕、夕、組
オン ソ
フン くみ・くみ



↓ 組 ↓ 組 ↓ 組 ↓ 組 ↓ 組

成り立ち

おなじものが三つ(たくさん)のいみ)かさなつたかたちをあらわし、「つみかさねる」「つみかさなる」いみをあらわした「且」と、「糸」とをくみあわせてつくった字で、いろいろな糸をかさねてよりあわせ、一本の「ひもを「組む」こと」をあらわしたものです。でま上がつたものを「組む」といいます。

また、「人を組み合わせる」いみにもつかいます。このいみでつかわれるものが「組織」とか「組合」ということばです。

使い方

- ▽前例によりますと、その前日に、当日のしんこうにしたがつてれんしゅうすることになっています。
- ▽食前のくすりは、食事の直前ではなくて、二十分くらい前にのんでください。
- ▽前例(前の例。前々からおこなわれているしきたりのこと。)
- ▽前日(前の日)
- ▽前人(いまより前の人。むかしの人)
- ▽食前(食事の前。食事をする前)
- ▽直前(すぐ前)
- ▽午前(午はひるの十二じ。「ひるの十二じ前」といういみのことば。よるの十二じから、ひるの十二じまでのあいだ、をいいます。)
- ▽眼前(目の前。まのあたり)
- ▽目前(目の前。「眼前は空間的に、目前は時間的な意味に用いられることがおおい。)
- ▽前途有望(前途は「前の道」。しょうらいに望みがかけられることの意味)

使い方

- ▽わたしの組は、二年三組です。先生は太田先生です。組のせいとの人ずうは三十六人います。この三十六人が、いつせいに本をよむと、とてもにぎやかです。
- ▽ぼくのおかさんは、組ひもをつくっています。赤や白や青の、さまざまいろの糸をつかっていた組ひもは、とてもきれいです。
- ▽あたらしいそうりだいいんが、組閣にとり組みはじめました。

熟語例

- ▽組織(なんんかの人)が組みあわさって、できたもの。また、なにかものが組みあわさってできたものこと。また、「組織」といいます。まえのほうのれいは「かいしやの組織づくり」に、せんねんする」などというものです。あとのほうのれいは「ガンさいぼうが、しんけい組織をおかして、はげしいだまをかんださせる」などというものです。
- ▽組成(組みあわさって成り立っていること。また、組みあわさって成り立っているもの)
- ▽組閣(内閣を組織すること。)